

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70%	自校A B層の割合	70%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	64.1%	自校A B層の割合	65.6%

## 目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上学年では、教科担任制による授業を年間を通して行い、教材研究が十分に行えるようにする。下学年では、授業交換を取り入れ、児童理解の向上に努める。</li> <li>・ 探究的な学習の過程（課題の設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現）の授業を実施する。</li> <li>・ 各教科で「読書科」との関わりを意識して授業計画を作り、探究学習の推進につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話の聞き方、発表の仕方、ノートの書き方などの学習規律に関わる指導を全校で統一して行い、学び合いの素地を作る。</li> <li>・ 各教科で二人組での対話や3～4人でのグループ学習を授業の中で取り入れ、多様な他者と協働して学習が進められるようにする。</li> <li>・ ドリルパークに毎日10分以上取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ゲームやSNS、動画視聴に関する時間」を家庭で決め、学習習慣が定着するようにする。</li> <li>・ 5年生以上で自主学習の方法を提示し、自主的に学習が進められるように継続して指導する。</li> <li>・ デジタルドリルを活用し児童が家庭での学習に取り組みやすいようにする。</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思考の整理をし、自分の思いや考えが書けるようタブレットを活用した授業が行えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後算数補習教室」を活用して算数の基本的な知識・技能を習得させる。</li> <li>・ デジタルドリルを活用し、児童一人一人の習熟度に合わせた学習課題を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭学習の内容を具体的に指示をしたり、個人の能力に合わせた学習量にしたりする。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「読書科」との関連を意識した探究学習を学期に1回は取り入れる。</li> <li>・ 探究的な学習過程の板書カードを使用した学習を毎日実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「全校一斉算数テスト」での合格率を年度末までに90%以上にする。</li> <li>・ 「全校一斉漢字テスト」での合格率を年度末までに80%以上とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学年×10+10分」以上の家庭学習の習慣を80%以上の児童に身に付くようにする。</li> </ul>